

2025年問題と介護人材

2025年問題とは 人口となります。

2025年以降に、団塊の世代(ベビーブーム世代)が75歳以上となり、日本が超高齢化社会になることに応じて起こる

問題点を指しています。高齢者が急増する一方で若年層の人口が減少してきています。若い世代の労働力が高齢者の生活を支える形が崩壊してきており、2025年には若い世代が支え切れない数の高齢者

人口となります。また、2025年問題では特に介護業界の問題が深刻です。「若年層の減少」「働き手の減少」である一方、介護の需要は高齢化社会では増えるとい

われています。働き手がないのにサービス利用者が増えるということは、業界の崩壊に繋がります。ニーズはあるのにサービスがなく、介護サービスを受けられない高齢者が出てくることも懸念され、こういった問題を

目前に国は介護人材の確保として、介護離職者に対する復職支援や外国人労働者の受け入れをするなど、さまざまな対策や人材確保に努めています

が、未だ人材不足が解消される見通しはたつていません。ただ、逆に働き手にとっては

今後介護職は無くならない仕事ということかもしれません。介護職は無資格やブランクがあっても就職しやすい仕事です。他職種では「資格があっても仕事がない」という人もいる中、介護職は未経験から始

めても働きながら資格を取得できるし、一旦離職したとしても復職しやすく、見つかりやすい仕事といえます。介護職のイメージから、未経験で働くことを敬遠してしまう方もいる

かもしれません。当社ではさまざまな介護資格を有しているスタッフが多数在籍しており、フォローアップ体制が確立されています。また、新人研修やステップアップ研修も充実しています。

介護業界で新たなチャレンジをしたい方、また興味を持っておられる方は是非ご連絡下さい。やすらぎの村 介護事業部 第二営業部

マネージャー 宮崎 信也

